

分科会開催地

全体会終了後、参加者は 11 の分科会に分かれ、それぞれの地域で活動されている方々と交流を深めました。



各分科会の詳細

第3分科会 境港市

さかなと鬼太郎のまち 温いおもてなし
～観光ガイドでまちおこし～

観光客の方々への「おもてなし」を一緒に体験するとともに、境港ならではの郷土料理を味わいながら交流を深めます。

第6分科会 三朝町

自然を活かし歴史を繋ぐ地域づくり
～三朝の湯で温まってごしなよ～

映画「恋谷橋」、「三朝小唄」の上映を通して今昔の三朝温泉の移り変わりを見つめながら、温泉街の取組みや景観を見学します。

第9分科会 南部町

「わーやちのことは、わーやちで！」
～「再活の町」のまちづくり～

ふるさとの史跡伝統文化の保存や特産物の加工など、地域づくりを担う7つの地域振興協議会の取組みを体験・見学します。

第1分科会 鳥取市

豊かな自然の中での田舎暮らし
～梨・和紙・話・石・星を活かしたまちづくり～

梨・和紙・話・石・星をキーワードに、ゆったりとした時間を感じながら、梨の収穫や紙すき体験を行います。

第4分科会 岩美町

わしらーのまちはわしらーで！
～海の宝庫を活かしたわがまちづくり～

岩見町ならではの絶景を堪能できるジオパーク巡りや、ジオグルメ作りなど、海の恵みを使ったまちづくりを体験します。

第7分科会 湯梨浜町

天女が舞い降りた“鶴の湖”
～ぐるり東郷池 様々なまちづくりへの挑戦!!～

情趣豊かな「東郷池」の周遊や中国庭園「燕趙園」の見学など、「天女」をキーワードとしたまちづくりを体験します。

第10分科会 伯耆町

水をいかしたまちづくり
～ちょっこー 来てごしない しゃべらいや～

大山の美しい自然と出雲街道の歴史にふれながら、「伯耆町地蔵の泉」を守る会と地酒・地ビール醸造会社の取組みを見学します。

第2分科会 倉吉市

歴史とロマンと山の恵みにつつまれた“くらよしレトロ紀行”

伝統的建造物群に指定されている中心市街地と、自然豊かな地域の個性あふれる2コースに分かれ、それぞれの取組みを学びます。

第5分科会 智頭町

お待ちせました、いよいよ田舎の出番です
～森のめぐみと住民自治のまちづくり～

宿場町として栄えた「智頭宿」の見学や森林セラピー体験を通して、林業・農業を基軸とした魅力あふれるまちづくりを体験します。

第8分科会 大山町

ものづくり～ひとつづくり～まちづくり∞(むげんだい)

「アートを通じたまちづくり」として、大山の豊かな自然の中に建つ廃校を利用し、活動する地元クリエイターと交流を深めます。

第11分科会 日南町

「源流の郷で語らいや」
～見てくれ！ わしらのまちづくり～

杉玉づくりなどの体験や癒し系パワースポット巡りを通じて、自然豊かな日南町ならではの取組みを学びます。

第2分科会

倉吉市



歴史とロマンと山の恵みにつつまれた“くらよしレトロ紀行” 村おこしコース「しんわりたんわり田舎流！」

- 29日(土) 高城だっしゅ村→清流遊 YOU 村(清流を活かした村づくり)→水車の郷体験工房(そば打ち体験)→やまもりの丘(用水路下り、ピザ焼き体験)→夕食交流会(地元料理や薬膳鉄板焼き)→夜なべ談義
- 30日(日) 中山間地域の村づくりの取組み発表、意見交換会

榛名まちづくりネット 芹澤 優

第30回地域づくり団体全国研修交流会に参加しようと思った動機は、高崎(旧榛名町里見)が発祥の地で知られている南総里見八犬伝の里見氏が千葉県館山で隆盛を誇った後に、鳥取県倉吉で終焉を迎えたことから、その歴史的な繋がりを見つめたいと感じたとともに、鳥取県倉吉市の地域づくりの取組みを学びたいと思ったからである。

今大会の実行委員長である福田氏は、平成13年に群馬県で全国研修交流会を開催した折、榛名分科会に参加してくれ、豚の丸焼きを食べたことや榛名湖の氷上を歩いたことが初めての体験だったと言ってくれた。そんな、福田実行委員長に敬意と感謝を表したいという思いもあった。

本研修交流会は、9月28日に前夜祭、29日・30日に全体会と分科会が開催された。電車から眺める遠望景色は、心癒されるものであったが、田畑・山野は荒れ始めており、これを解決するのが喫緊の課題であることを再認識させられた。これからの日本の山野はどうなってしまうのかと不安に駆られずには居られなかった。

今大会テーマは、「日本一小さな県から大きな発進～集い・語り・紡ぐ～」。地域づくり活動は、地域の一人ひとりが日々コツコツと取り組むことに



より大きな輝きを増していくものであり、最初は小粒だが活動を継続させることで輝きを増し、大きな活動に育つ。故に地域に根ざした活動を行うことが最も重要であるという考え方のもと、鳥取県の魅力や可能性について活動事例を交えた報告を受け、語り合った。

分科会は、歴史ロマンと山の恵みにつつまれた“くらよしレトロ紀行”～しんわりたんわり田舎流!～をテーマにした「村おこしコース」に参加した。1日目は、見て・聞いて・体験ということで、高城だっしゅ村、清流遊 YOU 村、浅井もちっこ倶楽部、水車の郷体験工房(そばづくり)、やまもりの丘キャンプ場の順で周遊し、夜はキャンプ場で地元料理を囲んで交流会を行った。その後の夜なべ談義では、北は青森、南は沖縄の方々と12時過ぎまで語り合い、首都圏から遠い地域の方も、元気に頑張っていることがひしひしと感じ取れた一夜だった。

2日目は、中山間地域の取組みに関わる発表と意見交換会が開催され、それぞれの団体が協力・連携し合って活動を行っている様子が伺えた。地域力をつけるには、各団体の協力体制が必要である。人口約5万人の倉吉市では、地域住民が一体となって活動し、行政とも連携し、営業戦略を立て、共に活動を行っている。もう官だ民だと言っている時ではないのである。

ただ、鳥取県でも若い活動家を見ることは出来なかった。どこの地域も次の世代にどのように伝えていくかが最大の課題であると再認識させられた全国研修交流会であった。

次のページからは参加された方々のレポートをご紹介します。➔